

停電時業務放送・緊急地震放送対応
避難誘導システムのご提案
～環境にも配慮した壁掛型非常用放送設備～



壁掛型非常用放送設備 FS-1000シリーズ

①停電時の業務放送に対応

2011年3月に発生した東日本大震災以降、災害時に停電となった場合でも館内の人々に放送で情報伝達を行いたいという要望が増えています。

TOAでは災害時に停電となった場合でも業務放送できるよう、壁掛型の非常用放送設備に業務用電源ユニット付を新たにラインナップ。停電対策に別途専用の放送設備を設置せずに従来の火災発生時の避難誘導に加え、停電時も業務放送ができるようになりました。

もちろん、標準タイプのFS-1000シリーズに業務用電源ユニットを追加して、将来的に停電時の業務放送に対応することも可能です。



業務用電源ユニット付タイプ
FS10-4030G



標準タイプ
FS10-4030



業務用電源ユニット
FS-1000GU

②緊急地震放送の法制化に対応

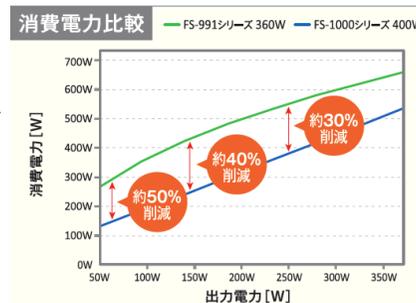
2009年9月の消防法改正により、非常用放送設備の非常放送チャンネルを利用して緊急地震速報に係る放送を行えるようになりました。それに伴い2011年4月に改正内容に適合する非常用放送設備の基準等を規定した「緊急地震速報に対応した非常用放送設備に関するガイドライン」が一般社団法人電子情報技術産業協会にて制定されました。

FS-1000シリーズはこのガイドラインに適合し、非常放送に優先して緊急地震放送を行えます。

従来の非常放送設備もアナウンスマシン等を増設することで業務放送レベルでの緊急地震放送を行えます。しかしFS-1000シリーズでは緊急地震放送に必要な音源も内蔵しているため、緊急地震速報受信端末からの起動信号を受信するだけで緊急地震放送を行えます。

③自然空冷式デジタルアンプの採用で省エネを実現

従来のアナログアンプの静音性・信頼性を維持しつつ、消費電力を最大で約50%削減、環境にも配慮した新世代の壁掛型非常用放送設備です。



システム構成例

